Ⅲ　施　　設

１．水道施設位置と給水区域図

２．施設概要

３．給水系統図

４．施設水位高低図

1. 水道施設位置と給水区域図



2. 施設概要

（１）津田浄水場



⦿　敷地面積：18,472.77㎡
⦿　規模：配水池2池（容量6,500㎥）
⦿　水源：地下水（深井戸）
⦿　処理能力：16,000㎥/日
⦿　供用開始：昭和11年4月

本市水道発祥の地である当浄水場は、津田川の伏流水と深井戸１本を水源として昭和11年(1936年）4月より給水を開始しました。現在は12本の深井戸から地下水を取水し、平成30年（2018年）3月から運用を開始した生物接触ろ過方式により浄水処理を行い、ポンプ圧送方式で津田給水区へ配水しています。また、送配水の拠点として中央監視システムにより市内水道施設の集中管理を行っています。





※「つつじの一般公開」は、更新事業のため平成23年からしばらくの間、中止しています。

（２）東山配水場



⦿　敷地面積：10,054.33㎡
⦿　規模：配水池3池（容量12,000㎥）
⦿　供用開始：昭和50年4月

当配水場では、大阪広域水道企業団から受水し、東山給水区へ自然流下方式で配水しています。また、津田浄水場との連絡管で相互に送水し、自己水の有効利用と安定供給を図っています。平成13年度（2001年度）に配水池容量を7,500㎥から12,000㎥に増設しており、震災等の非常時の飲料水確保のための緊急遮断弁を設置しています。

（３）三ツ松受水場



⦿　敷地面積：2,196.57㎡
⦿　規模：受水池2池（容量2,000㎥）
⦿　供用開始：平成12年4月

当受水場では、大阪広域水道企業団から受水し、三ケ山配水場へポンプ圧送方式で送水しています。平成20年度（2008年度）に受水池容量を1,000㎥から2,000㎥に増設し、貯水能力を高めています。

（４）三ケ山配水場

- ⦿ 敷地面積：3,957.58㎡
- ⦿ 規模：配水池2池（容量6,000㎥）
- ⦿ 供用開始：平成12年4月

当配水場では、三ツ松受水場から送られた水を貯水し、地形を利用して自然流下方式で三ケ山給水区へ配水しています。また、三ケ山山上配水場へポンプ圧送方式で送水しています。

平成15年度（2003年度）に配水池容量を3,000㎥から6,000㎥に増設しており、震災等の非常時の飲料水確保のための緊急遮断弁を設置しています。





（５）三ケ山山上配水場

- ⦿ 敷地面積：3,932.39㎡
- ⦿ 規模：配水池2池（容量1,000㎥）
- ⦿ 供用開始：昭和45年5月

当配水場では、三ケ山配水場より送られた水を貯水し、三ケ山配水場より標高の高い三ケ山山上給水区へ自然流下方式で配水しています。

平成19年度（2007年度）に配水池容量を550㎥から1,000㎥に増設し、当該給水区における貯水能力を高めています。



（６）木積中継ポンプ場

- ⦿ 敷地面積：172.11㎡
- ⦿ 供用開始：平成18年3月

当ポンプ場では、三ケ山山上配水場より送られた水を、さらにポンプで増圧し、三ケ山山上給水区木積畑地区へ配水するとともに、蕎原中継ポンプ場へ送水しています。



（７）蕎原中継ポンプ場

- ⦿ 敷地面積：601.35㎡
- ⦿ 規模：配水池2池（容量40㎥）
- ⦿ 供用開始：平成28年4月

当ポンプ場では、木積中継ポンプ場から送られた水を、ポンプ圧送方式で三ケ山山上給水区の大川・栢谷地区へ配水するとともに、蕎原浄水施設へ送水しています。

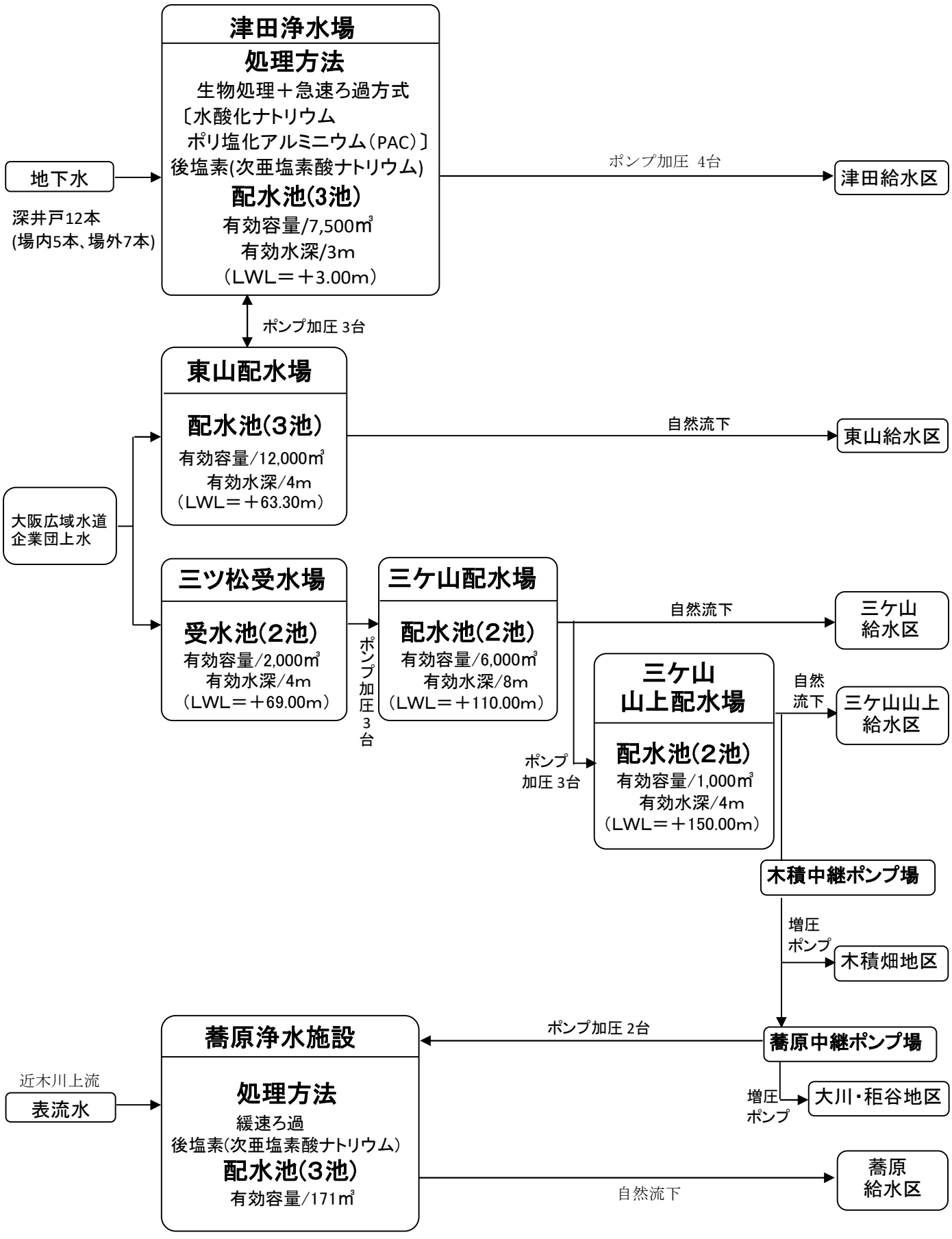


（８）蕎原浄水施設

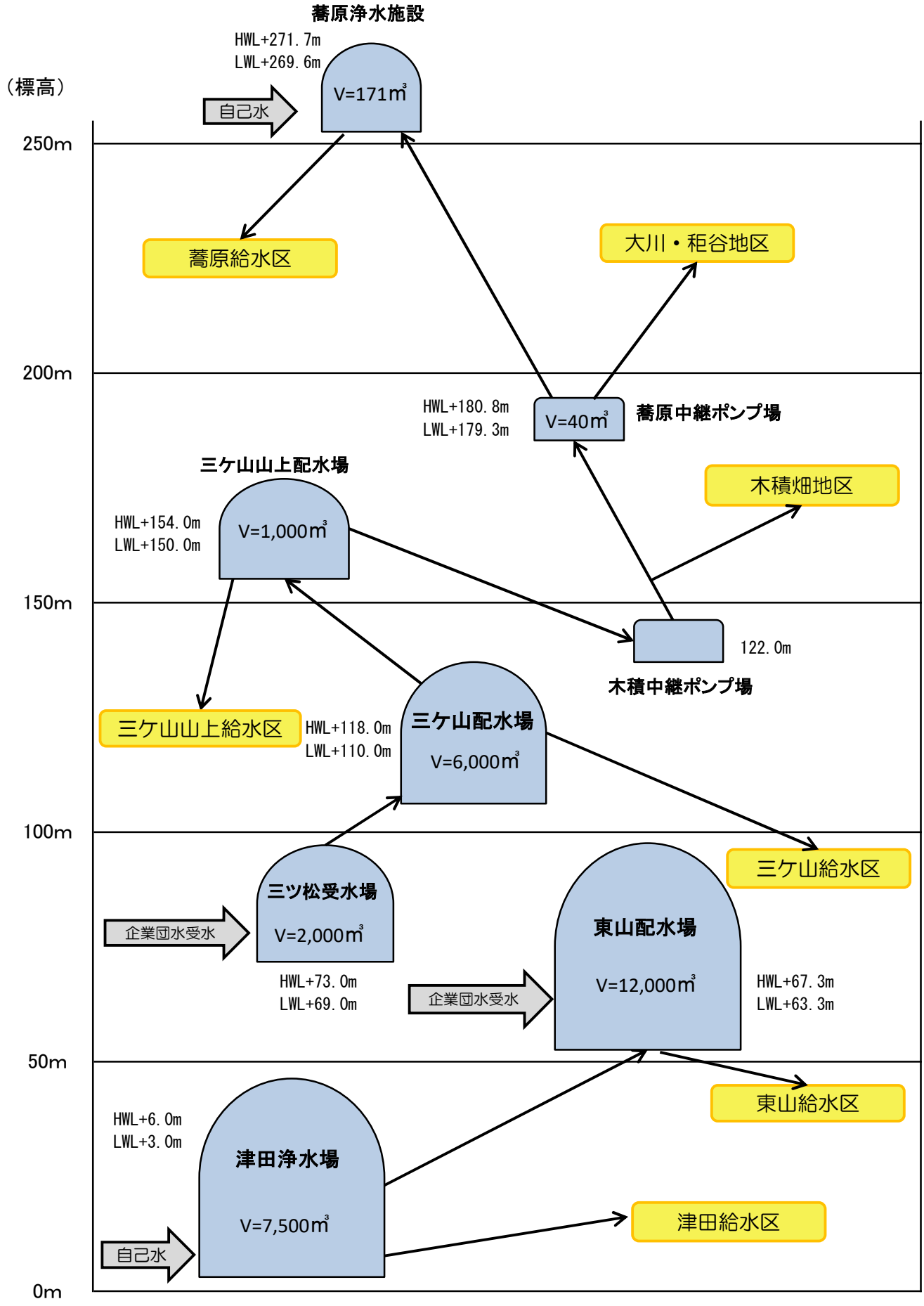
- ⦿ 敷地面積：662.11㎡
- ⦿ 規模：配水池3池（容量171㎥）
- ⦿ 水源：近木川上流
- ⦿ 処理能力：170㎥/日
- ⦿ 供用開始：昭和35年5月

平成28年（2016年）4月から、当施設では蕎原中継ポンプ場から送られた水を、自然流下方式で蕎原給水区に配水しています。現時点では、近木川の表流水を水源とし、緩速ろ過方式により浄水処理を行う自己水も併用しています。

3. 給水系統図


津田浄水場
処理方法
生物処理＋急速ろ過方式
〔水酸化ナトリウム
ポリ塩化アルミニウム（PAC）〕
後塩素(次亜塩素酸ナトリウム)
配水池(3池)
有効容量/7,500㎥
有効水深/3m
（LWL＝＋3.00m）
地下水
深井戸12本
(場内5本、場外7本)
ポンプ加圧 4台
津田給水区
ポンプ加圧 3台
東山配水場
配水池(3池)
有効容量/12,000㎥
有効水深/4m
（LWL＝＋63.30m）
自然流下
東山給水区
大阪広域水道
企業団上水
三ツ松受水場
受水池(2池)
有効容量/2,000㎥
有効水深/4m
（LWL＝＋69.00m）
ポンプ加圧3台
三ケ山配水場
配水池(2池)
有効容量/6,000㎥
有効水深/8m
（LWL＝＋110.00m）
自然流下
三ケ山
給水区
三ケ山
山上配水場
配水池(2池)
有効容量/1,000㎥
有効水深/4m
（LWL＝＋150.00m）
ポンプ
加圧 3台
自然
流下
三ケ山山上
給水区
木積中継ポンプ場
増圧
ポンプ
木積畑地区
近木川上流
表流水
蕎原浄水施設
処理方法
緩速ろ過
後塩素(次亜塩素酸ナトリウム)
配水池(3池)
有効容量/171㎥
ポンプ加圧 2台
蕎原中継ポンプ場
増圧
ポンプ
大川・秬谷地区
自然流下
蕎原
給水区

4. 施設水位高低図


蕎原浄水施設
HWL+271.7m
LWL+269.6m
V=171㎥
自己水
（標高）
250m
蕎原給水区
大川・秬谷地区
200m
HWL+180.8m
LWL+179.3m
V=40㎥
蕎原中継ポンプ場
三ケ山山上配水場
HWL+154.0m
LWL+150.0m
V=1,000㎥
木積畑地区
150m
122.0m
木積中継ポンプ場
三ケ山山上給水区
HWL+118.0m
LWL+110.0m
三ケ山配水場
V=6,000㎥
100m
三ケ山給水区
三ツ松受水場
V=2,000㎥
企業団水受水
HWL+73.0m
LWL+69.0m
東山配水場
V=12,000㎥
企業団水受水
HWL+67.3m
LWL+63.3m
50m
東山給水区
HWL+6.0m
LWL+3.0m
津田浄水場
V=7,500㎥
津田給水区
自己水
0m

このページは空白です。